

図書館休館のお知らせ

蔵書点検のため、図書館各館は下記の期間休館いたします。
ご不便をおかけいたしますが、何卒ご協力をお願いいたします。

▽と き 分館 2月16日(木)～21日(火)

本館 2月22日(水)～28日(火)

※28日(火)は月末休館日のため全館休館



▽ご注意

図書館の休館中は、本・雑誌・紙芝居はブックポストから返却することができます。ただしCD・DVD・おもちゃ・複製絵画・大型絵本については、破損の恐れがあるため、開館後に図書館のカウンターへ直接お返し下さい。

休館日

2月の休館日

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28				

3月の休館日

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

■ は本館の休館日です

*本館の特別整理期間のお休みは

22日(水)～28日(火)です。

*16(木)～21(火)は、分館がお休みです。

2月のギャラリー

今月のギャラリーは
「リサイクル本バザー
&雑誌無料配布」
のため展示はありません

編集後記

チョコレートはあまり食べる方ではなかったのですが「ちょっと高級で甘さ控えめなチョコ」を口にする機会が増えてくると、ついつい食べてしまうようになりました。甘い誘惑に負けて体重計に乗れなくなりそう！(お)

けやきどおり通信 (No.281)

編集・発行 碧南市民図書館

〒447-0057

碧南市鶴見町1-70-1

TEL: (0566) 41-0894



けやきどおり通信



2017年2月 ～NO. 281～

For my
Valentine

私の大切な人になって!

2月といえば、バレンタインデーですね。日本では女性が意中の男性にチョコレートを贈る日として定着していますが、本来は男女を問わず、恋人や友だち、家族などにお菓子や花、カードを贈るものです。今月は、チョコレート菓子の本や、甘く、ときにほろ苦い恋愛に関する本を特集します。

『板チョコ1枚から作るかわいいチョコレートのお菓子』

主婦の友社 (596.65 イ)

市販のチョコレートから作る、シンプルなお菓子から、大人向けの濃厚デザートまで、幅広いレシピを紹介!

『かわいいチョコレートのお菓子』

寺西恵里子/著 日東書院本社 (596.65 カ)

プチケーキ、マフィン、トリュフ、クッキーなどを楽しく作って、大切な人に贈っちゃおう。作り方を写真つきで解説。

『作ってあげたいとおきチョコ』 フティック社 (596.65 ツ)

チョコレートボンボンや、市販のお菓子をアレンジして作る、サクサクでふんわりしたお菓子や、しっとり冷たいお菓子まで42品のレシピをご紹介します。ラッピングテクニックも掲載する。

★お菓子の作り方の本は[暮らしの本]の棚にもあります★



『マチネの終わりに』 平野啓一郎/著 毎日新聞出版(Fヒ)

互いを深く愛しながら別れることになった蒔野聡史と小峰洋子。ふたりはなぜ結ばれなかったのか。そして、再びめぐり会うことができるのか。恋を忘れた大人に贈る恋愛小説。

『植物図鑑』 有川 浩/著 角川書店(Fア)(YBFア/ヤング文庫)

「お嬢さん、よかったら俺を拾ってやってくれませんか」——ある日さやかが拾ったのは、不思議な青年・イツキ。奇妙な2人暮らしは穏やかで心地良いもので、いつしか互いに心を寄せるようになるのだが……。



『わたしの、好きな人』 八束澄子/著 講談社(Fヤ)

12歳のさやかが好きになったのは、幼い頃から愛情を注いでくれた、工場で働く36歳の杉田だった。少女から大人へと成長していくさやかの純粋な恋を、家族愛や友情を交えて描く。

『100回泣くこと』 中村 航//著 小学館(F十)

「結婚しようか」「うん」そんな言葉が交わした藤井と良美は、結婚の練習という名の同棲生活をはじめた。幸せな日々がずっと続くと思っていたふたりだったが……。

『エンキョ!レンアイ』 小手鞠るい/著 世界文化社(Fコ)

出会いは京都駅近くの書店。13年前の春に始まった恋は、東京とニューヨークという距離を経てもなお、つながっていた。"運命の人"を信じてみたくなる純愛小説。

『センセイの鞆』 川上弘美/著 平凡社(Fカ)、文藝春秋(BFカ/文庫)

ツキコは行きつけの居酒屋で、高校の古典の"センセイ"と再会する。何度か顔を合わせ、酒を交わすうちに穏やかな交流が生まれ、次第にセンセイとの関係も変わっていく。

『百瀬、こっちを向いて。』 中田永一/著 祥伝社(F十)

高校のとき、ノボルは百瀬とつき合っている振りをしていた。それは慕っていた宮崎先輩の二股をカムフラージュするためだった。表題作はじめ4篇の作品を掲載。



『勝手にふるえてろ』 綿矢いさ/著 文藝春秋(F7)

恋愛経験のない26歳のおたく系女子・江藤良香。彼女はいま、中学からずっと片思いしている人との“脳内恋愛”と、突然告白してきた暑苦しい同期の男との“リアル恋愛”の間で戸惑いと葛藤の日々を送っている。果たして彼女が欲しいのはどちらの“恋”なのか？

『きみはポラリス』 三浦しをん/著 新潮社(Fミ)

どうして人は、それを“恋”だとわかるのだろう。初恋、禁忌、純愛、結婚……。11の恋愛の形を描いた短編集。

『恋する男たち』 篠田節子・小池真理子ほか/著 朝日新聞社(Fコ)

終わった恋や懐かしい恋、なかには恐ろしい恋もある。けれど、恋する男たちはみんな愛しいもの。女性作家6人の手によるオムニバスストーリー。



『最後の恋』 グリーザー/著 北樹出版(702サ)

74歳のゲーテは19歳の娘に恋をした。様々な芸術家たちの最後の恋のエピソードを綴る。

『愛の顛末』 梯久美子/著 文藝春秋(910ア)

運命の出会い、悲恋、^{もうしゅう}妄執。明治から昭和に生きた小林多喜二をはじめとした文学者12名の愛を辿ったノンフィクション。

『朗読者』 ベルンハルト・シュリンク/著 新潮社(943ロ)

15歳のミハエルが想いを寄せたのは、21歳年上のハンナだった。だがほどなくして彼女は失踪してしまう。大学生になったミハエルは、ナチスの戦争犯罪に関係した裁判の傍聴のために訪れ、そこで被告として立つ彼女と再会する。20ヶ国で翻訳されたベストセラー。

貸出中のときは、ご予約をどうぞ!!



リサイクル本バザー
& 雑誌無料配布

★リサイクル本バザー★

図書館の廃棄本や、みなさんから提供された本を安く販売します。

と き 2月4日(土) 9時～17時
5日(日) 9時～15時

ところ 図書館本館2階会議室

★雑誌無料配布(1人5冊まで)★

保存期限の切れた雑誌を無料配布します

と き 2月4日(土)～12(日) 9時～17時
ところ 図書館本館2階ギャラリー

※雑誌や本を入れるためのかばんをご持参下さい!!

★喫茶ふれんず★

コーヒー、ジュースを飲んでひとやすみしませんか？

と き 2月4日(土) 9時30分～16時
5日(日) 9時30分～15時

ところ：図書館本館2階ボランティア室

